

坂東太郎様より寄付をいただきました。

坂東太郎の青谷会長
県などに500万円寄付

父親の遺産を子どもたちの教育に役立ててもらおうと、和食レストラン「ばんどう太郎」などを展開する外食チェーン、坂東太郎（本社古河市）の青谷洋治会長は、県や境町、県立境特別支援学校などに100万円ずつ計500万円を寄付した。

青谷会長によると、父親

の昇さんは今月9日、102歳で亡くなった。戦地に2度赴き、生前は「（青春時代を）お国のためにささげた」と話していたという。青谷会長は「国のお役に立つために生まれてきたと言っていた父親の思いを最後まで貫くため、青谷家として、遺産を県や町に寄付させていただいた」と話した。このほか、人を大切にする経営学会▽障がい者ワークスタイル研究所の2団体にも寄付した。

過日、坂東太郎の会長、青谷洋治 様の御尊父が逝去され、告別式に参列して参りました。享年 102 歳、人のため国のために生きた方であったということです。

式の中で「父の思いを貫くために、寄付をしたい」とのお申し出があり、県や町、そして本校に 100 万円の寄付を頂戴しました。

坂東太郎様には、昨年度より、いちご農園での実習等で大変お世話になり、今年度は本校の学校評議員をお引き受けいただいております。

寄付金については謹んでお受けし、児童・生徒のためになるものに使用したいと考えております。

令和 2 年 6 月 21 日 茨城新聞